



◀▲悠斗さんの練習風景
(撮影協力：ビートスイミングクラブ相浦)

平戸の新星 第3回

水中で心と体を鍛えぬき 恩返しできる人になりたい

平戸中学校2年生の古川悠斗さんは毎日、放課後の塾の後、佐世保市のビートスイミングクラブ相浦まで、水泳の練習に通っています。もともと身体が弱かった悠斗さんは、喘息を克服するために水泳を始めました。松浦市のプールに通い始めきめきと上達する中で、選手コースへの入会を勧められました。

選手として競泳を始めて以来、全九州水泳競技大会2位などの成績を残しています。水中では、一瞬の判断が試合の流れだけでなく、時には生命を左右するため、練習では身体を鍛えるだけでなく、精神力も鍛えられます。そのため、競泳の練習や試合だけでなく、普段の生活においても、できるだけ「自分で考えて行動する」「同じ失敗を2度繰り返さない」ということを心がけているそうです。将来の夢は、まだ決まっていませんが、「小さいころから一緒に泳ぎ頑張る姿を見てきた先輩や、喧嘩しつつも優しくして頼りになる兄など、目標としている人が身近にいます。その姿を目指して、家族や支えてくれた人たち、友達に恩返しできるような大人になりたいです」と語ります。月曜日から土曜日まで毎日、厳しい練習に明け暮れ、試合などがない日曜日には家業を手伝う頑張り屋の悠斗さん。今後の活躍が楽しみです。



平戸中学校 2年 古川 悠斗さん (明の川内町)

たくましく水泳に励む古川さんも、普段は読書や音楽鑑賞など、文化面にも興味があるそうです。

「感謝を忘れず挑戦を」

母 美紀さん

家では私や兄に甘える悠斗ですが、水中に入り1人での戦いになると、たくましい姿を見せるようになりました。これからも、指導していただいた皆さんたちへの感謝の気持ちを忘れず、挑戦して行ってほしいです。

ライフカントリーに響く歓声

問 生涯学習課スポーツ推進班 ☎22-9214



10月2日、平戸市総合運動公園ライフカントリーで、サッカーJエリートリーググループD第4節のゲームが行われ、長崎県のJリーグチームV・ファーレン長崎と鹿児島ユナイテッドFCが対戦しました。

Jエリートリーグは昨年から、21歳以下の選手を中心とした、将来有望な若手選手の強化・育成に寄与することを目的に行われており、平戸市内での開催は2回目。

試合前には、市内の少年サッカーチームを対象にサッカー教室が開催され、V・ファーレン長崎のスクールコーチから指導が行われました。

試合はV・ファーレン長崎が1対2で逆転負けしましたが、市内外から約800人が訪れ、会場は熱気に包まれました。

【結果】V・ファーレン長崎-鹿児島ユナイテッドFC
1 - 2
(前半0-0 後半1-2)

人口の動き

()は、前月との比較
令和4年10月1日現在

■総人口	29,347人(-36人)	■平戸地区	16,898人(-30人)
■男性	13,920人(-10人)	北部地区	10,030人(-14人)
■女性	15,427人(-26人)	中部地区	3,297人(-5人)
■世帯数	13,789戸(-1戸)	南部地区	3,571人(-11人)
問 市民課戸籍住民班 ☎22-9123		■生月地区	4,820人(-13人)
		■田平地区	6,678人(+16人)
		■大島地区	951人(-9人)

交通事故件数

令和4年9月末現在

■件数	33件(31件)
■死者	2人(0人)
■負傷者	44人(39人)

※()内は昨年同期

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

火災救急件数

令和4年9月末現在

■火災	27件(20件)
■救急	1,337件(1,182件)

※()内は昨年同期

問 消防本部予防課 ☎22-3167

P 2	目次・ライフカントリーに響く歓声・人口の動き・交通事故件数・火災救急件数
P 3	平戸の新星
P 4~9	特集 地域を守る身近なヒーロー
P 10~11	ひらどツーデーウォーク
P 12	そうだ図書館へ行こう
P 13	まちづくり協議会紹介・「古写真」から見る平戸の記憶遺産
P 14	高齢者通いの場
P 15	消費生活センター・国際交流員の日記
P 16~17	子育て・健康応援コーナー
P 18~22	見逃せない情報がココに(お知らせ)
P 23	暮らしに役立つ情報がここにも(お知らせ)
P 24~25	まちのできごと
P 26	うぶ声&おくやみ・TownTopic
P 27	ハッピーバースデー
P 28	カレンダー